

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	特発性肺線維症の睡眠薬内服薬の有無と臨床経過の調査－後ろ向き観察研究－
研究責任者	浜松医科大学 医学部 内科学第二講座 須田隆文 当院研究責任者:呼吸器内科 部長 中村 秀範
研究実施体制	研究責任施設: 浜松医科大学 医学部 内科学第二講座 須田 隆文 共同研究施設: 聖隷三方原病院 呼吸器科 部長 横村 光司 聖隷浜松病院 呼吸器内科 部長 中村 秀範
研究期間	臨床研究審査委員会承認後 ～ 2025 年 11 月
対象者	2004 年 5 月～2020 年 12 月に当院で特発性肺線維症と診断された方（全施設で約 300 名の方）
研究の意義・目的	明らかな原因の特定できない間質性肺疾患である特発性間質性肺炎の一病型として特発性肺線維症があります。特発性肺線維症の患者さまには息切れなどの症状があり、緩和治療に関する研究は、今後の課題とされています。特発性肺線維症の不眠症合併に関する検討は少なく、今回の研究は不眠症の合併率や不眠症合併者の予後がどのようなのかを明らかにすることを目的とします。
研究の方法	研究デザイン 多施設共同研究の後ろ向き観察研究 【方法】 診療録に基づき臨床情報を収集し、主要評価項目:睡眠薬の累積内服率を評価し、さらに、副次的評価項目:急性増悪発症率、全生存率、呼吸機能検査などに関して睡眠薬内服有無による臨床像の違いを明らかにします。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 河野 雅人 TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00～17:00 平日